

2012 年度の活動は、一般社団法人として新たなスタートを切り、新しい定款に基づいて運営を行う初年度でもあった。適切な運営に必要な情報を適時に取得し、迅速な役員間での共有と検討・論議の上での意思決定に努めた。諸活動については、一部イベントが会場の都合により開催の延期と中止を余儀なくされたが、これを除いては概ね予定していた活動を行うことができた。

チン・シアットユーン新大使の歓迎会の開催、2013 年 2 月の日本・ASEAN 友好協力 40 周年記念事業講演会（当協会顧問 朝海和夫大使）の開催は、当年度の特筆すべき活動となった。なお、チン大使には当協会名誉顧問に就任いただいた。

長年赤坂に構えた事務所は、ビル全体の建て替え計画に伴い 2013 年 1 月移転を行った。これによる財政蓄積の取り崩しを契機に、寄付募集を行うことを決定した。このほか前年度に引き続き、シンガポール大使館をはじめとする各機関や、日本各地のシンガポール友好団体、更に日本香港協会をはじめとする諸団体との交流に努めた。

## 1、調査研究事業

前年度末に発行した「シンガポール共和国の概況」（2012 年 3 月版）に関し、公共機関、研究者やシンガポール進出を検討する企業や個人から多数の注文に応じた。今後も年 1 回ペースで改訂版を発行する。また、シンガポールの近年の状況等について、受けた多くの問い合わせについては、現地側機関とも連絡を取りながら調査し、あるいは紹介を行った。

## 2、親善交流事業

シンガポール及びその他アジアの人達との交流と会員相互の親睦を図るため下記を開催した。

- 1) 「シンガポール日本人学校 OB/OG 会」（06/02）（在日シンガポール首席公使を招く）【85 名】
- 2) シンガポールからの留学生を招いての「懇親会」（07/06）【8 名】
- 3) 「エビスビールと、シンガポール料理で暑気払い」（07/21）（恵比寿ビール記念館、シンガポール海南鶏飯）【28 名参加】
- 4) 「懇親ゴルフ大会」（09/14）（在日シンガポール公使を招いた）【38 名】、【2013/03/16 35 名】
- 5) 「チン・シアットユーン新大使ご夫妻歓迎会」（11/20）（国際文化会館）【71 名】
- 6) 「落語会」2013/03/04 【43 名】
- 7) ①例年 10 月の「Afternoon Tea」は 2013 年 5 月開催に延期（予定）。  
【②例年 11 月の「Get Together」は中止】

## 3、セミナー・講演事業

シンガポール及びアジア関係の下記講演会を行なった。

- 1) 「これからの日本とアジア」（2012 年 4 月 21 日第 42 回定例総会）【45 名】  
日本経済新聞社 編集委員 後藤康浩氏
- 2) 「修学旅行先としてのシンガポール」
 

9/24	高崎商科大学附属高校	： 山田章顧問
10/24	新潟県 北越高校	： 里村健一監事
11/07	桜修館中等教育学校	： 須加敏夫参与
- 3) その他講演依頼に対応
 

10/11	茨城県中小企業振興公社	： 里村健一監事
-------	-------------	----------
- 4) 日本・ASEAN 友好協力 40 周年記念事業 講演会（2013/02/13 国際文化会館）  
「日本と ASEAN、東アジア諸国との関係-最近の問題」  
当協会顧問 元ミャンマー駐箚特命全権大使 朝海和夫氏 【62 名】

## 4、出版事業

前年度に引き続き「シンガポール企業経営ガイド」、「シンガポール会社法 Q&A」、「シンガポールの華人社会」、「シンガポール PAP 政権」、「ハローシンガポール」等の書籍を販売した。

## 5、広報事業

- 1) 月 2 回シンガポール情報をメールにて配信、季刊誌「シンガポール」を 4 回発行した。
- 2) ホームページの充実を努め、Facebook 等を含めた掲示版等での交流が深まっている。
- 3) シンガポール日本人商工会議所（JCCI）「月報」、シンガポール日本人会「南十字星」に「日本シンガポール協会便り」のページをいただき、当協会役員の随想と共に当協会の紹介記事を継続掲載いただいている。
- 4) 公共性・公益性の高いイベントについて、依頼により「後援」を行った。

以上

## 2013 年会計年度 事業計画

(2013 年 4 月 1 日 - 2014 年 3 月 31 日)

本年度は、役員任期満了による新執行部体制で前年同様円滑な運営に努める。会員サービスの充実を図り、会員増の努力を継続します。当協会の目的でもあるシンガポールとの諸分野における交流を一層深化すべく、基本として駐日シンガポールの各機関との連携を継続、強化するよう努める。本年度は大きなキャンペーンとなるが、前年度末に開始した財政規模強化のための寄付募集を行う。当協会の更なる発展への原資とすべく用途は慎重に検討を加えつつ進める。

具体的に本年度は下記の事業を計画し実行する。

### 1、財政規模の強化、寄付募集と会員増強活動の継続・強化

事務所移転による財政蓄積の取り崩しを契機とし、協会財政規模の強化のため前年度末に開始した寄付の継続募集を行う。さらに引き続きあらゆる機会を捉え、新規会員の増強に努める。このために会員にとってより魅力ある協会運営と活動の提供、会員サービスについて検討を重ね実行に移す。

### 2、各種事業活動の推進

#### 2-1、調査研究事業

「シンガポール共和国の概況」の編集・発行に加え、ホームページの情報提供サービス「シンガポールに関する各種情報・資料」をより幅広く収集し、提供して行く。進出予定企業等からなど個別の問い合わせに関しては、シンガポール現地の関係機関及び現地の専門調査員とも連絡確認を密に取りながら対応する。

#### 2-2、親善交流事業

会員相互及び在日シンガポール人、留学生との国際交流が図れる場として、アフターヌーンティー・サロン、アニュアル・ゲット・トゲザー、歴史文化探訪ウォーキング等の開催を昨年同様企画する。また、親善交流のための懇親ゴルフ会、シンガポール日本人学校 OB&OG 懇親会、日本伝統芸能(例えば落語など)を紹介する会等を引き続き企画開催する。特にシンガポール日本人学校 OB&OG 懇親会は 10 周年を迎えることもあり、重点企画の一つとする。

日本香港協会等他地域の協会とのイベントの相互参加を通じて、ASEAN から APEC に及ぶ情報の提供や交流の機会を拡充すると共に、日本各地におけるシンガポール協会等、友好親善団体との交流を一層図るべく努力する。

#### 2-3、セミナー講演会事業

シンガポール及びこれを取り巻く環境、情勢に対応し、会員のために有効・有益な講演会、イベントを企画し実施する。また、青少年層の国際化支援のため、大学や高校へ引き続き講師の派遣やインターシップの斡旋等に務める。

#### 2-4、出版事業

シンガポールに関する研究をはじめ、シンガポール進出に関し、高まる中堅企業のニーズに対応して、シンガポール及び周辺の歴史や、会社設立・経営・税務に係る書籍等の提供と情報サービスを展開する。

#### 2-5、広報事業

引き続き、季刊誌「シンガポール」及びホームページの質的向上を図ると同時に、高い評価を得ているシンガポール情報のメールによる定期配信を継続する。また、シンガポール日本人会、シンガポール日本人商工会議所、日本におけるシンガポール政府関連の出先機関との連携を深め、内外において友好関係増進のための広報活動をより積極的に行う。

以上